

平成25年度

社会人大学院夜間開講 講義受講コース

社会人のために夜間開講されている大学院講義科目を聴講できる社会人聴講制度を活用したコースです。

時間：19:00～21:00

場所：星薬科大学 新星館 2階講義室

認定単位：星薬科大学認定薬剤師認定単位（G11） 1.5単位

受講料：1講義3,000円

申込方法：メール又はFAXで受講日（当日）の13:00までにお申し込みください。

なお、お申し込みには以下の項目を明記してください。

- ①受講希望日と講座の名称②氏名③フリガナ④住所⑤電話番号
- ⑥メールアドレス⑦本学の卒業生のみ卒業年度（④以降は任意）

お申込み・お問合せ

星薬科大学 薬学教育研究センター 薬剤師生涯学習支援室

〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41

TEL/FAX：03-5498-5863

e-mail：shougaikyoku@hoshi.ac.jp

URL: <http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/index.html>

- 受講方法：
- 受講日当時に管理系事務室の前の券売機にて受講料分の証紙を購入し、教学系事務室にて「受講カード」を記入の上、受講してください。
 - 毎時間講義開始前にレポート（受講票）をお渡ししますので、講義中に当日の講義内容をまとめ、終了時に提出してください。
 - レポート（受講票）は複写式になっており、1枚は提出しますが、1枚は受講ノートとして持ち帰ることができます。

注意事項：受講に際し、虚偽の記載または申告などの事実がある時には、履修許可を取り消すことがあります。

※7月9日、11月8日の予定が変更となっております。ご注意ください。

【前期】

月/日	項目	担当	内容
5/7(火)	婦人科①: エストロゲンを中心に	和泉俊一郎	エストロゲン関係の病態と生理を薬物療法を含めて解説する。
5/16(木)	造血器腫瘍 の治療	岡本真一郎	造血器腫瘍に対する新しい薬物療法についてわかりやすく説明する。
5/17(金)	神経外傷・変性疾患に 対する再生戦略①	岡野ジエイムス 洋尚	脊髄損傷などの神経外傷に対する新規治療法の開発を目指した再生医学研究について最新の知見を紹介する。
5/20(月)	循環器系疾患とEBM	林 同文	循環器系疾患とは、心臓を中心とした全身の動脈・静脈系の病気全てを示す。特に動脈硬化の原因となる、糖尿病や高血圧を含めた生活習慣病やメタボリック症候群なども含まれ、最も患者の多い専門領域の1つである。これらの病態だけでなく、治療薬におけるEBM(Evidence-Based Medicine)の考え方について薬学部学生として必要な知識を概説する。
5/21(火)	婦人科②: ARTを中心に	和泉俊一郎	卵子をめぐる医療について薬物療法を絡めて解説する。

5/24(金)	神経外傷・変性疾患に対する再生戦略②	岡野ジエイムス 洋尚	動物モデルを用いた神経変性疾患の病態研究および検査技術の開発、新規治療戦略について述べる。
5/28(火)	循環器病学①	赤石 誠	循環器疾患において病態を解析評価することにより適切な薬剤を使用することが可能となる場合が多い。それらの病態の把握方法と薬剤の選択について概説する。
5/29(水)	消化器疾患の病態、治療①	芹澤 宏	消化器領域で代表的な疾患(胃・十二指腸かいよう、炎症性腸疾患や肝炎・肝硬変腓炎など)を取り上げ、その基本的な病態生理とともに薬物療法を中心とした治療につきスライドを用いて述べる。
6/4(火)	循環器病学②	赤石 誠	循環器疾患において病態を解析評価することにより適切な薬剤を使用することが可能となる場合が多い。それらの病態の把握方法と薬剤の選択について概説する。
6/5(水)	消化器疾患の病態、治療②	芹澤 宏	消化器領域で代表的な疾患(胃・十二指腸かいよう、炎症性腸疾患や肝炎・肝硬変腓炎など)を取り上げ、その基本的な病態生理とともに薬物療法を中心とした治療につきスライドを用いて述べる。
6/6(木)	薬局における プライマリ・ケア	信川益明	<ul style="list-style-type: none"> ・プライマリ・ケアを考える上で重要な医療の捉え方 ・包括医療における薬剤師の役割とは ・薬局はどのようにプライマリ・ケアを行うか ・薬局はどこまでプライマリ・ケアを行うか ・薬局はどのようにして生き残りをはかるか
6/11(火)	前立腺疾患	中村 薫	高齢化社会に伴い、患者数が急増している前立腺疾患(前立腺肥大症・前立腺癌)をとりあげて診断の進め方、薬物療法の実際、手術手技の要旨解説を行う。
6/12(水)	治療薬学	山川 正	メタボリックシンドロームの成因、診断、臨床的意義、薬物治療(漢方薬を含めて)について最近の話題を含めて論じる。
6/14(金)	神経系の疾患と治療①	濱田潤一	脳血管障害の病態と治療、および頭痛につきその原因と治療、特に片頭痛の病態生理について述べる。
6/17(月)	眼科	宮田 博	白内障および緑内障を中心に眼の構造、機能、疾患の概略と、最近の治療法、特に薬物治療について述べる。
6/20(木)	薬剤師に求められるプライマリ・ケア医(かかりつけ医)の役割と医療連携	信川益明	<ul style="list-style-type: none"> ・プライマリ・ケアを助ける医療連携とは ・薬剤師と他の医療関係者との連携をどのように構築するか ・プライマリ・ケアの推進と医療連携 ・医療連携システム推進のための方法論
6/21(金)	神経系の疾患と治療②	濱田潤一	神経難病の代表である変性疾患(パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、など)、アルツハイマー病の病態と治療について述べる。
6/24(月)	新規抗精神病薬の薬理作用と使い方	天野 託	最近発売された抗精神病薬についての薬理作用ならびに症例を用いた使いかたを取り上げる。
6/25(火)	癌の診断と治療	中村 薫	癌の診断の進め方および多剤併用化学療法の実際ならび手術を紹介する。とくに抗がん剤が著効する精巣癌についてその効果、副作用をスライドで解説する。
6/26(水)	医薬品による腎臓、肝臓、消化管、循環器障害①	上原譽志夫	医薬品による腎障害、肝障害、消化管障害および循環器障害などを取り上げ、臨床症例を中心に多角的に講義する。
7/1(月)	1.ニューロサイエンスと精神病理学 2.「パーソナリティ障害」と「困った人たち」	天野 託	<ol style="list-style-type: none"> 1.「こころ」は科学できるかを精神病理学的な考え方で講義する。 2.薬学の講義では学習しない人格障害について講義する。
7/3(水)	医薬品による腎臓、肝臓、消化管、循環器障害②	上原譽志夫	医薬品による腎障害、肝障害、消化管障害および循環器障害などを取り上げ、臨床症例を中心に多角的に講義する。
7/5(金)	神経系の疾患と治療③	濱田潤一	末梢神経と脊髄の疾患について、神経筋接合部疾患(重症筋無力症)について述べる。
7/9(火)			予定変更になりました。(10/8)
7/12(金)	神経系の疾患と治療④	濱田潤一	神経感染症、プリオン病について述べる。その他の神経疾患についても補充する。

【後期】

月/日	項目	担当	内容
10/1(火)	腫瘍と病理学	長嶋洋治	腫瘍の定義、細胞学的特徴、がん遺伝子について概説する。加えて病理学的研究を実例をあげて提示する。
10/4(金)	腎疾患の現況と将来	河邊博史	主な腎疾患(糸球体腎炎、IgA 腎症、ネフローゼ症候群など)について概説し、さらに最近提唱された「慢性腎臓病」の定義、有病率、早期発見のための検査、対策法などについて述べてみたい。
10/8(火)	尿路結石、 感染症、 腎移植	中村 薫	尿路結石の症状診断、低侵襲治療法を紹介する。尿路感染症に対する抗生剤投与の原則と実際、腎移植の手術スライド供覧と免疫抑制剤について解説する。
10/7(月)	耳鼻咽喉科	小川 郁	耳鼻咽喉科領域の疾患の中で、特に難聴、耳鳴、めまいの原因となる疾患について概説し、各々の症状の発生機序、検査法について述べる。また、各症状の治療法に関しては今後の薬物療法の展望を含めて考察を加える。
10/11(金)	治験における SMO、CRC の役割とその将来	北川 明	医薬品開発において重要な役割を担う治験において、治験の実施現場としての医療機関における、治験の質およびスピードの維持・向上のため、SMO (Site Management Organization) という新しい概念に基づく仕組みの活用が、その問題解決の切り札として期待されている。SMO の現状および問題点を整理するとともに本来あるべき SMO の姿を議論したい。
10/15(火)	脊髄再生研究の現況と展望	中村雅也	脊髄損傷の病態を概説し、その治療法の現状と将来の展望、特に再生医療について紹介したい。
10/16(水)	白血病の分類と治療	村瀬 忠	白血病についてその分類と病態を述べ、それら疾病の最近の話題および薬物療法を含めた治療の基本的な考え方について論じる。
10/17(木)	パーキンソン病の病態・治療	波田野琢	神経変性疾患の代表的な疾患であるパーキンソン病の病態及び治療について述べる。
10/22(火)	呼吸器病学①	塩見哲也	呼吸生理学の基礎と呼吸器疾患の病態生理を解説し、各種呼吸器疾患の治療における薬物療法の重要性を述べる。(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息を中心に解説する。)
10/24(木)	認知症とは	波田野琢	高齢化社会に向けて認知症は頻度が増えており社会問題となっている。本講義は認知症の診断について述べる。
10/25(金)	外科病理学	稲山嘉明	臨床医学における外科病理診断学の位置づけ、そのプロセスや意義を実例をまじえながら概説する。
10/29(火)	呼吸器病学②	塩見哲也	呼吸生理学の基礎と呼吸器疾患の病態生理を解説し、各種呼吸器疾患の治療における薬物療法の重要性を述べる。(間質性肺炎、肺癌を中心に解説する。)
10/30(水)	精神科疾患の漢方治療	吉村吉博	精神科疾患でも漢方が得意としているうつ病及びその随伴症状の治療を中心に解説する。さらにケーススタディを取り上げる。
11/6(水)	感染症疾患の漢方治療	吉村吉博	かぜの漢方治療について、中医漢方医学的手法である弁証論治(病理メカニズム)に基づいて解説する。
11/8(金)			予定変更になりました。(11/21)
11/11(月)	糖尿病	山田 悟	糖尿病の病態と治療
11/13(水)	血栓症の診断と治療	村田 満	高血圧、糖尿病などの生活習慣病と関連が深い血栓症疾患の遺伝的背景や後天的危険因子などと予防法なども含め総括的に論じる。
11/15(金)	精神医学①	野村総一郎	薬剤師の知っておくべき精神医学の知識(精神医学総論、各論として統合失調症、神経症、うつ病など)について講義する。
11/21(木)	精神医学②	野村総一郎	薬剤師の知っておくべき精神医学の知識(精神医学総論、各論として統合失調症、神経症、うつ病など)について講義する。
11/18(月)	栄養	山田 悟	脂質異常症の病態と治療
11/22(金)	膵臓癌の病態と治療開発①	光永修一	膵臓癌の病態と標準治療を解説する。
11/27(水)	体質改善の漢方治療	吉村吉博	冷え症や低体温症の治療について、中医漢方医学的にアプローチして解説する。さらにケーススタディを取り上げる。
11/29(金)	膵臓癌の病態と治療開発②	光永修一	膵臓癌の病態と標準治療を考慮した治療開発について実例を用いて提示する。
12/4(水)	婦人科疾患の漢方治療	吉村吉博	女性の疾患で多い月経痛、月経不順などをとりあげて、中医漢方医学的に基づいて解説する。さらにケーススタディを取り上げる。

星薬科大学 大学院 平成25年度 講義（夜間）時間割

●講義時間 19:00~21:00 (120分 1コマ)

●星薬科大学認定薬剤師認定単位 1.5単位

(前期)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
		5/1	5/2	5/3 祝日
5/6 振替休日	5/7 臨床薬学特別講義Ⅰ 和泉俊一郎①	5/8	5/9	5/10
5/13	5/14	5/15	5/16 臨床薬学特別講義Ⅲ 岡本真一郎	5/17 臨床薬学特別講義Ⅲ 岡野シヰイハヤ洋尚
5/20 臨床薬学特別講義Ⅰ 林 同文	5/21 臨床薬学特別講義Ⅰ 和泉俊一郎②	5/22	5/23	5/24 臨床薬学特別講義Ⅲ 岡野シヰイハヤ洋尚
5/27	5/28 臨床薬学特別講義Ⅲ 赤石 誠①	5/29 臨床薬学特別講義Ⅱ 芹澤 宏①	5/30	5/31
6/3	6/4 臨床薬学特別講義Ⅲ 赤石 誠②	6/5 臨床薬学特別講義Ⅱ 芹澤 宏②	6/6 臨床薬学特別講義Ⅳ 信川益明①	6/7
6/10	6/11 臨床薬学特別講義Ⅱ 中村 薫①	6/12 臨床薬学特別講義Ⅲ 山川 正	6/13	6/14 臨床薬学特別講義Ⅰ 濱田潤一①
6/17 臨床薬学特別講義Ⅰ 宮田 博	6/18	6/19	6/20 臨床薬学特別講義Ⅳ 信川益明②	6/21 臨床薬学特別講義Ⅰ 濱田潤一②
6/24 臨床薬学特別講義Ⅱ 天野 託①	6/25 臨床薬学特別講義Ⅱ 中村 薫②	6/26 臨床薬学特別講義Ⅳ 上原誓志夫①	6/27	6/28
7/1 臨床薬学特別講義Ⅱ 天野 託②	7/2	7/3 臨床薬学特別講義Ⅳ 上原誓志夫②	7/4	7/5 臨床薬学特別講義Ⅰ 濱田潤一③
7/8	7/9 10/8に変更	7/10	7/11	7/12 臨床薬学特別講義Ⅰ 濱田潤一④
7/15 祝日	7/16	7/17	7/18	7/19
夏期休業期間 7/20~9/10				
		9/11	9/12	9/13
9/16 祝日	9/17	9/18	9/19	9/20
9/23 祝日	9/24	9/25	9/26	9/27

(後期)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/30	10/1 臨床薬学特別講義Ⅳ 長嶋洋治	10/2	10/3	10/4 臨床薬学特別講義Ⅳ 河邊博史
10/7 臨床薬学特別講義Ⅰ 小川 郁	10/8 臨床薬学特別講義Ⅱ 中村 薫③	10/9	10/10	10/11 臨床薬学特別講義Ⅳ 北川 明
10/14 祝日	10/15 臨床薬学特別講義Ⅰ 中村雅也	10/16 臨床薬学特別講義Ⅲ 村瀬 忠	10/17 臨床薬学特別講義Ⅲ 波田野琢①	10/18
10/21	10/22 臨床薬学特別講義Ⅱ 塩見哲也①	10/23	10/24 臨床薬学特別講義Ⅲ 波田野琢②	10/25 臨床薬学特別講義Ⅳ 稲山嘉明
10/28	10/29 臨床薬学特別講義Ⅱ 塩見哲也②	10/30 臨床薬学特別講義Ⅳ 吉村吉博①	10/31	11/1 星薬祭準備
11/4 振替休日	11/5	11/6 臨床薬学特別講義Ⅳ 吉村吉博②	11/7	11/8 11/21に変更
11/11 臨床薬学特別講義Ⅰ 山田 悟①	11/12	11/13 臨床薬学特別講義Ⅲ 村田 満	11/14	11/15 臨床薬学特別講義Ⅱ 野村総一郎②
11/18 臨床薬学特別講義Ⅰ 山田 悟②	11/19	11/20	11/21 臨床薬学特別講義Ⅱ 野村総一郎①	11/22 臨床薬学特別講義Ⅲ 光永修一①
11/25	11/26	11/27 臨床薬学特別講義Ⅳ 吉村吉博③	11/28	11/29 臨床薬学特別講義Ⅲ 光永修一②
12/2	12/3	12/4 臨床薬学特別講義Ⅳ 吉村吉博④	12/5	12/6
12/9	12/10	12/11	12/12	12/13
12/16	12/17	12/18	12/19	12/20 OSCE準備
冬期休業期間 12/21~1/8				
			1/9	1/10
1/13 祝日	1/14	1/15	1/16	1/17 ゼミ試験準備日
1/20	1/21	1/22	1/23	1/24